

副会長就任ご挨拶

奈良交通株式会社
取締役副社長 増本 隆史

このたび伝統と歴史ある奈良県経済倶楽部の副会長を務めさせていただくことになりました。私のような若輩者をご推挙いただきましたことは大変名誉なことであり、責任の重さをひしひしと感じております。当倶楽部では、終戦間もない昭和23年に前身である社団法人大和経済倶楽部を設立されて以来、これまで地域に根ざした諸活動を積極的に展開し、経済・文化両面で奈良県の発展および振興に大きく寄与されてきました。前任の竹中副会長様をはじめ、歴代役員の方々、会員の皆様が長年に亘って築いてこられました素晴らしい伝統を汚すことのないよう精一杯努めさせていただきたいと存じます。

さて、現在、わが国を含む世界では、米国や欧州を中心に新型コロナウイルス感染症の拡大という難局に直面しており、各国において、この対応が喫緊の課題となっています。感染拡大の影響が広く現実の経済へと波及するなかで、各企業がしっかりと社会を支え続け、柔軟に対応していくことが責務であり、社会的使命と考えております。

一方、国内景気は、消費増税があったものの緩やか

な回復基調で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大による在宅勤務や外出自粛等により経済活動が大きく制限され、厳しい状況となっております。また、働き方改革と相まって今後も人の移動が減少した状態で推移すると考えられます。奈良県につきましても観光客の減少やイベントの中止などにより観光業界を中心に大きな影響が出ており、先行き不透明な状態となっております。まずは、この新型コロナウイルスの難局を乗り切ることが最優先ですが、このような状況にあるからこそ、将来の奈良県経済の姿を見据えた新しい取り組みも、重要になってくると思われま

す。今般、私は副会長という大役を引き受けさせていただくこととなりましたが、奈良県経済の一角を担う当倶楽部において、伝統を受け継ぎながら奈良県経済の発展振興、社会文化の向上に向けて一翼を担うべく邁進していきたいと存じますので、皆様方のご支援とご協力をお願いいたします。

